

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 21 号 2016 年 10 月 5 日発行

+++++

六条大麦、団子麦を西原の水車で搗精していただくように、中川さんをお願いしました。希望者にはレシピ付きで丸麦 250g（有機無農薬、小菅産）を無料でお送りします。下記にメールください。「おぼく」や「リゾート」にして食べるとおいしかったです。今秋は播種しない予定です。亀井さんから頂いたマイタケの原木から、やっと出てきました。早速収穫し、焼いたらとても良い味でした。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りしています。ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、「辺境」の地道な活動に薄情な「マスコミ」や「ギョウセイ」ではなく、顔見知り信頼の「口コミ」で転送伝達していただけるとうれしいです。連絡先は下記メールアドレスです。

○予定

展示解説・作業予定日： 10月21日（金）、28日（金）、11月2日（水）の予定です。
年に1日、月に1日でも、未来への遺産である民具や図書の整理をご一緒していただければありがたいです。

参加希望者は木俣にメールしてください。 kibi20kijin@yahoo.co.jp

1. ラジャバト大学プラナコンから TJ クラブ環境学習巡検が来ます（再掲）

日時：10月8日（土）から16日（日） 場所：主に小菅村

参加者：ラダワン先生やシリワット先生他8名。

* 奥多摩ビジターセンター、科博などにも行きます。ご協力ください。歓迎会・送別会もします。問い合わせ連絡先は黒沢事務局長です。

2. シンポジウム「農山村の環境と生活文化から学ぶ都市との交流」

（現代文明の移行と伝統知・生業 ～第39回環境学習セミナー）の企画準備状況
（企画につき良いアイデアがありましたら、お知らせください。）今後、詳細はHPに掲載します。

日時：2017年4月15～16日（土日）1泊2日、日帰り参加もよい。

場所：神奈川県相模原市緑区、藤野地区の「篠原の里」ほか。

連絡問い合わせ先：黒沢友彦 npo-inch@wine.plala.or.jp または木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

宿泊：「篠原の里」、藤野倶楽部「無形の家」ほか

参加費：実費程度 参加者数：約 100 人

主催：自然文化誌研究会、ECOPLUS（伝統知共同研究）、藤野シンポジウム世話人会（末村成生さん）

共催：エコミュージアム日本村（トランジション小菅）／ミュージーズ研究会ほか

協力：東京学芸大学環境教育研究センター

助成：「緑と水の森林ファンド」事業（国土緑化推進機構）

内容：

4 月 15 日（土） 若干の時間変更はあります。

9 : 30 ~ 受付

10 : 00 ~ 10 : 10 挨拶・総合司会 中込卓男さん（自然文化誌研究会代表理事）

10 : 10 ~ 10 : 40 基調報告

高野孝子さん（早稲田大学教授）

10 : 40 ~ 11 : 40 伝統知研究会報告

大前純一さん（ECOPLUS 事務局長、新潟県南魚沼）

黒澤友彦さん（自然文化誌研究会事務局長、山梨県小菅村）

11 : 40 ~ 13 : 00 昼食、ポスター・セッション

13 : 00 ~ 14 : 30 話題提供

設楽清和さん（パーマカルチャー・センター代表）

高橋靖典さん（トランジション・タウン藤野、藤野倶楽部）

渡辺隆一さん（信州大学特任教授）

14 : 30 ~ 14 : 45 休憩

14 : 45 ~ 17 : 00 座談会風の総合討論 司会 中込貴芳さん（自然文化誌研究会副代表理事）

17 : 30 ~ 交流会（夕食懇親会）

4 月 16 日（日）

9 : 00 ~ 10 : 00 シンポジウムのまとめ

10 : 00 ~ 12 : 00 藤野のまち歩き（検討中）

3. 日本村塾ゼミ

ご意見、ご要望をお知らせください。

1) 自給農耕ゼミ第 7 回

日時：10 月 23 日（日）午前～午後（時間は参加希望者に追ってお知らせします）、場所：藤野駅北の雑穀畑。

内容：午前中、アワの収穫作業、藤野倶楽部百笑の台所で昼食、午後、読書会など。

畑は線路の向側で、藤野駅ホームの 3 号車の位置あたり、藤野倶楽部看板の向こうに見える

ます。駅舎を出て、左の歩道を線路に沿って東（東京向き）に歩き、左の中央線の踏切を渡り、30mほど北上し、中央高速道下のトンネルに入らないで、手前で左折し、西（甲府向き）に100mほど戻るように歩くと左手にあります。

2) 民族植物学ゼミ第3回； 希望者があれば、読書会を松戸近くで再開したいです。

3) 扶桑⇄拭⇄ぢゼミ第3回； 希望者があれば、くにとは何かや日本国憲法についてテキストをもとに話し合ってみたいと思います。

4. 民族植物学第10号は編集中ですが、でき次第、希望者にはお送りします。なお、第11号の原稿締め切りは2017年3月末予定です。

5. 『雑穀のインド亜大陸』は2017年3月を完成目標に、個人（主語私）の実験をまじえながら、自由に書いています。未定稿ですが順次章ごとに公開していきます。下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2016未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージーズ研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

連絡先・相談係： 木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

個人 HP: 生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP： <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>